

## 乳癌術後の創部固定方法変更による皮膚障害発生率に関する研究について

当院では、乳癌術後の創部固定方法と皮膚障害発生率の関係を明らかにすることを目的とした研究を実施しています。本研究は、診療記録を用いた後方視的観察研究であり、患者さまに新たな負担や侵襲が生じることはありません。

研究の実施にあたり、対象となる患者さまに直接同意をいただく代わりに、研究内容を公開し、研究への利用を希望されない場合に申し出ていただく「オプトアウト方式」を採用しています。

### 1. 研究の目的

乳癌術後の創部固定方法（粘着性弾性包帯からバストバンドへの変更）が皮膚障害発生率に与える影響を明らかにし、より安全で負担の少ない創部管理方法の確立に役立てることを目的としています。

### 2. 研究の対象

2023年10月～2025年9月に当院で乳癌手術を受けられた患者さまのうち、創部固定方法に関する診療記録が残されている方を対象とします。

### 3. 研究方法

診療記録（電子カルテ）から以下の情報を収集し、統計解析を行います。

- 年齢
- BMI
- 術式（部分切除、全切除、腋窩郭清の有無）
- 皮膚障害の有無
- 皮膚障害発生例の術式内訳

追加の検査や来院は必要ありません。

### 4. 個人情報の取り扱い

収集した情報は匿名化し、個人が特定されない形で解析します。

研究データは厳重に管理し、研究目的以外には使用しません。

研究成果を学会や論文で公表する際も、個人が特定されることはありません。

### 5. 研究による利益・不利益

本研究は後方視的研究であり、患者さまに新たな不利益や身体的負担はありません。

研究成果は、今後の乳癌術後管理の改善に役立つ可能性があります。

6. 研究への利用を希望されない場合

本研究への診療情報の利用を希望されない場合は、3月31日までに下記の問い合わせ先までお申し出ください。

申し出がない場合は、研究への利用に同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。

7. 問い合わせ先

水戸赤十字病院

看護部 藤本 成美

029-221-5177 (代表)